

学校法人神戸滋慶学園 姫路医療専門学校
2025年度 第1回 学校関係者評価委員会 議事録

1. 開催日時:2025年6月14日(土)13:30~14:45

2. 開催方法:オンライン(ZOOM)

3. 参加者

:学校関係者評価委員

浅沼 由紀 業界関係者(一般社団法人兵庫県作業療法士会 理事)

正木 昭次 業界関係者(一般社団法人兵庫県臨床工学技士会 参与)

田中 種男 地域関係者(姫路市城巽地区自治会 顧問)

栗岡 容子 保護者代表 (作業療法士科 1・3 年生 保護者)

大塚 将史 卒業生代表(作業療法士科 2020 年度卒業生)

:欠席者 ※委員会と同じ説明をし、評価をいただいた。

服巻 陽子 業界関係者(一般社団法人兵庫県言語聴覚士会 理事)

瀬戸川 孝 高等学校関係者(元兵庫県立松陽高等学校校長)

:学校側参加者

向原 伸彦 姫路医療専門学校 校長

笠原 由美子 姫路医療専門学校 事務部長

今在家 信司 姫路医療専門学校 教務部長

竹内 美保 姫路医療専門学校 作業療法士科 副学科長

帯包 静香 姫路医療専門学校 言語聴覚士科 副学科長

荒木 秀幸 姫路医療専門学校 救急救命士科 副学科長

菊野 晃史 姫路医療専門学校 事務副部長

4. 会議の概要

(1) 委員のご紹介、校長挨拶

(2) 令和6年度の自己点検・自己評価報告

令和6年度本校が実施した自己点検・自己評価の内容を下記10項目について項目ごとに説明した後、各委員から質疑応答、ご意見を頂き、評価をして頂いた。

① 教育理念・目的・育成人材像

② 学校運営

③ 教育活動

④ 学修成果

⑤ 学生支援

⑥ 教育環境

⑦ 学生の募集と受入れ

⑧ 財務

- ⑨ 法令等の遵守
- ⑩ 社会貢献・地域貢献

(3) 質疑応答・講評

正木委員: 業界関係者として人材育成をされていることに感謝しております。人材をいかに確保するかはとても重要なことです。作業療法士科と言語聴覚士科に関しては1年生から国家試験対策を実施されていることで、学生さんが勉強が難しいと感じ、退学に繋がっているということはありませんでしょうか。

→竹内: 1年生の国家試験対策は、授業の復習が中心で、繰り返し学習を行っております。課題を大変だと感じる学生さんもいるとは思いますが、学科教員全員でフォローをしていますので、今まで退学につながった事例はありません。

→今在家: 退学に関しては、キャリア教育の中で将来の就職に対してのイメージをもつために、自分がどこで、どのような人材として働きたいのか、という目標をもってもらうように指導しております。1年生から卒業生や業界の方の講演会をとおして専門職として活躍するイメージをもつことで、モチベーション維持できるようキャリア教育を充実させております。

浅沼委員: 手厚く対応しないといけない学生さんの対応には、先生方のご苦労があるように思います。カウンセラーの先生はいらっしゃるのでしょうか。

→笠原: 週1回、臨床心理士で大学でもカウンセラーをされている先生に来て頂いています。

浅沼委員: 高校2年生から進路決定する時代だということに驚いています。高校生が早期に進路選択をすることで、入学までの約1年間、高校からのモチベーションは保てるのでしょうか。

→笠原: 本校では合格が決まってから、入学前教育を合格後から入学までの間に2～3回実施しておりモチベーションの維持や専門学校入学後の学生生活や将来の職業について話をしております。

田中委員: 学生募集については、子どもが魅力を感じる学校の特色を教えて頂きたいと思います。また、入学後は高校と専門学校の違い等を明確にして伝えて頂ければと思います。

大塚委員: 各学科で様々な取り組みをされていることに改めて学校の魅力を感じました。卒業生として、同窓会等を通じて卒業生とのネットワークが広がれば嬉しいです。

栗岡委員: 子どもは高校2年生の時にインターンシップに参加したことで、姫路医療専門学校で学ぶことがイメージでき、オープンキャンパスで更に魅力を感じ進学を決めました。早期から国家試験の勉強をすることは本人の自信にもなっているようです。スマートフォンを活用した学習は自宅でもしています。

笠原: 本日はお忙しい中、ご出席賜り、また貴重なご意見を、ありがとうございました。

以上